

 JILS 25th Anniversary
THINK TOGETHER

25

10月 これからのロジスティクスのあるべき姿 ～第4次産業革命に備え、考えるべきこと～
ロジスティクス強調月間 2017

関西物流改善事例発表会2017

テーマ：現場力向上への挑戦

徹底したコスト削減を実現した改善事例、
お金をかけずに成果を得た改善事例などの
優れた事例が11件発表されます。

会期：10月17日(火) 10:00～16:40

会場：ホテル大阪ベイタワー ベイタワーホール

定員：300名

主催：公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人 日本物流資格士会 西日本委員会

ロジスティクス強調月間2017 サポーター一覧

企業

株式会社IHI
アサヒビール株式会社
株式会社NTTロジスコ
株式会社岡村製作所
花王株式会社
鹿島建設株式会社
カスケード(ジャパン)リミテッド
株式会社サーガ
サカタウエアハウス株式会社
サンコーインダストリー株式会社
サンリーホールディングス株式会社
株式会社住友倉庫

センコーグループホールディングス株式会社
株式会社ダイフク
TOTO株式会社
東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社豊田自動織機トヨタL&Fカンパニー
トランスコスモス株式会社
日本通運株式会社
日本電気株式会社
一般社団法人日本海事検定協会
日本貨物鉄道株式会社(JR貨物)
株式会社日本能率協会コンサルティング

富士通株式会社
株式会社フジトランス コーポレーション
北王流通株式会社
ホンダロジコム株式会社
三井倉庫株式会社
三菱商事株式会社
三菱倉庫株式会社
村田機械株式会社
矢崎エナジーシステム株式会社
ヤマエ久野株式会社
リコーロジスティクス株式会社
月刊マテリアルフロー
月刊ロジスティクス・ビジネス

大学

愛知学院大学

関西物流改善事例発表会2017

開催にあたって

企業経営を取り巻く環境は、グローバル化の進展にともなう国際競争の激化、少子高齢化の進行、Eコマースを筆頭としたオムニチャネル化の進展などにより大きく変化し、構造的な問題として取り組まなければならない課題が山積しております。

そのようななか多くの企業では、課題解決に向け、第4次産業革命としてIoT、ビッグデータおよび人工知能(AI)などを駆使した、新たな価値の創出や劇的な生産性向上を図るためのビジネスモデルの構築に取り組んでおります。

現在、物流業界においては、輸配送の多頻度小口化や即日配送などの高度な物流サービスが求められています。その一方、物流の根幹を支えるトラックドライバーなどの労働力不足問題といった「物流危機」が顕在化し、今や経営者の重要な関心事項として認識されるとともに、社会問題化しております。

このような厳しい物流環境を克服するためにも、物流現場においては市場動向などの経営環境の変化をいち早く察知し、柔軟に対応できる「現場力」の強化が求められています。

当協会は、創立以来、毎年10月を「ロジスティクス強調月間」として定め、東京、名古屋、大阪、福岡でロジスティクスの啓発、普及活動を展開しております。

本年度は「これからのロジスティクスのあるべき姿～第4次産業革命に備え、考えるべきこと～」を統一テーマとして、38機関のサポートのもとに活動を実施いたします。

関西地域におきましては、ロジスティクス強調月間の一環として、物流現場の改善活動に焦点をあて、一般社団法人日本物流資格士会西日本委員会との共催による「関西物流改善事例発表会2017」を開催いたします。

本発表会は、「**現場力向上への挑戦**」をテーマに、11件の優秀な企業事例と特別講演で構成されています。ご発表いただく企業事例は、小集団活動などを通じ、現場担当者が知恵を絞り改善活動を推進し、生産性や作業効率の向上、コスト削減ならびに環境負荷低減などに大きな成果をあげられたものです。

また、特別講演では、公益社団法人自動車技術会 関東支部 理事 岩井 信夫 氏をお迎えし、「トラック物流への自動運転技術の適用」をテーマにご講演いただきます。

本発表会が物流現場における課題解決の手がかりや、改善ノウハウなどのヒントを得られる機会であると確信いたしております。

つきましては、本発表会に積極的にご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



関西物流改善事例発表会2017 実行委員会

委員長 牧 邦彦

(ワコール流通株式会社 代表取締役社長)

一般社団法人日本物流資格士会は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会およびその前身の団体の下で養成された、物流スペシャリストである「物流技術管理士」「国際物流管理士」「物流管理士」「物流士」「物流現場改善士」による組織です。わが国唯一の物流スペシャリスト資格者による交流組織で、会員の相互研鑽ならびに物流に関する知識と技術の向上を図ると共に、関連諸機関と連携して物流の合理化を推進することを目的としています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、物流の現場力の強化を目的に「物流現場改善推進のための手引書〈改訂版〉」を作成いたしました。詳細およびダウンロードは、『物流現場改善推進』で検索し、協会HPまでアクセスしてください。

10:00
10:10

開会挨拶

牧 邦彦 氏

関西物流改善事例発表会2017 実行委員会委員長
ワコール流通株式会社 代表取締役社長

10:10
10:30

これからのロジスティクスのあるべき姿「JILS創立25周年を迎えて」

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 橋爪 茂久

10:30
10:50

事例発表1

「詰め合わせ作業エリアのレイアウト最適化」

TOTO株式会社 近畿・中部物流部 滋賀物流課 濱尾 亮介 氏

小物品の詰め合わせ作業現場の統合に伴い、出庫作業方法の改善としてPCP方式(*)を導入した。しかし、ピッキング動線の長さ、製品形状による詰め合わせのロス等があり、想定していた生産性向上が図れていなかった。そこで、詰め合わせ作業エリアのレイアウト変更、作業者の集中緩和などを実施し、改善前 비해生産性6%の向上を実現した。*ピッキング・チェック・パッキングの略で、一人の作業者がピッキングから検品・梱包までを行う方式【取扱商材】衛生陶器および部品

10:50
11:10

事例発表2

「共同ダンボールへの統一に向けた取り組み」

株式会社インテクスト 加工・輸送担当 森田 恒夫 氏

「インナー／ソックス」用ダンボールを8種類に集約化することでダンボールの使用量削減を推進した。ダンボールサイズの集約の結果、前年度と比較し、10.2%ダンボールの削減に成功した。現在、業界団体を通じ『共同ダンボール』とし、業界標準規格化にも取り組んでいる。また、ダンボール業者の荷卸時間の削減など、副次的な効果もあった。【取扱商材】靴下

11:10
11:30

事例発表3

「搬送用アタッチメントの製作による物流センターの生産性改善」

間口ジェネラルサービス株式会社 工場長 野村 博文 氏

食料品を取り扱う要冷センターで、ドーリー(*)の人力搬送を行っていた。ドーリーに積んだ商品の重量は約45KGあり、その重量や搬送動線の長さから作業員に負荷がかかっていた。この状況を脱却するため、動力車用アタッチメントを考案・製作し、搬送労力の軽減に取り組んだ。飛躍的に作業生産性が向上し、当初20名で作業していたが9名に削減できた。*小型の重量物を運搬するための台車【取扱商材】食料品

昼休み

*本発表会では昼食を準備しておりません。各自でお取りください。

12:30
12:50

事例発表4

「検査業務の総稼働生産性向上」

ワコール流通株式会社 守山流通センター 業務管理課 係長 池田 直人 氏
守山流通センター 業務管理課 検査主任 井崎 恵美子 氏

検査業務において、作業員一人一人の検査手順にバラつきがあったため、作業標準化と作業環境の変更を行い、生産性の向上に取り組んだ。具体策として、①作業標準化の定着②「見える化」や「作業環境の変更」を行い、作業動線の短縮に取り組んだ。その結果、生産性目標であった17枚/hを達成した(生産性実績 予算比105% 前年比112%)。【取扱商材】下着・肌着

12:50
13:10

事例発表5

「物量波動にあわせた作業員の調整～繁忙差3倍以上の通販センターの取り組み～」

株式会社流通サービス 物流本部 西日本第一物流部 部長 稲葉 勉 氏
西日本第一物流部 西宮北物流センター フロア責任者(主任) 佐野 貴己子 氏

繁忙差が3倍以上にもなる大手化粧品の通販物流業務において、物量波動にあわせた人員体制の整備に取り組んだ。繁忙期の増員を行わず、閑散期にはフルタイムパート社員の収入を減らさない仕組みとして「新年間カレンダー」の構築および「収入速報プログラム」を開発、導入した。その結果、物量波動にあわせた人員の確保および従業員満足度向上にも寄与した。また、顧客からの要望である10,000件/日の出荷能力を上回る13,000件/日の出荷件数も達成し、顧客満足度も向上させることができた。【取扱商材】化粧品

13:10
13:30

事例発表6

「混流梱包ラインにおけるムダを取り除け」

山村ロジスティクス株式会社 尼崎営業所 主任 小田 和葵 氏

玩具を取り扱うセンターにおいて、店別ピッキング、検品作業、梱包作業を行っている。繁忙期には梱包作業が滞ることが多かったため、改善活動に取り組んだ。現状分析を実施したところ、「ダンボールの選定に時間がかかる」「ムダ歩行」があることを発見。ダンボールサイズの選定方法の見直しを行った。また、ローラーコンベヤの傾斜利用、新しい作業台の製作なども実施した。結果、歩行時間は51秒から7秒に減少し、梱包生産性も10%向上した。【取扱商材】玩具

13:30
13:50

事例発表7 「静脈物流における業務改善」

三愛ロジスティクス株式会社 経営企画部 CSR推進課 林 実結 氏

四国グリーンセンターでは、四国4県の静脈物流の集約と分別業務を行っている。入荷された回収物がセンター内に滞留し、ムダなスペース、ムラのある入出庫、ムリな作業を発生させていた。お客様へのアンケート調査等を実施し、各々の問題をデータ化、可視化したうえで、回収物の滞留削減に取り組んだ。その結果、回収複合機の保管スペース43%削減に成功、また、外部倉庫の返却もできた。【取扱商材】複写機、使用済トナー・部品(パーツ)等

休憩

14:00
14:20

事例発表8 「スワップボディコンテナ導入による労働時間削減と稼働率向上」

富士運輸株式会社 成田支店 支店長 前田 修 氏 <第107期物流技術管理士>

ドライバーの積卸作業の対応や物流センターでの待機時間によるドライバーの長時間労働および実車稼働率低下の問題が慢性化していた。そこで、荷主と協議のうえ、『荷役分離』が可能で大型免許で運転ができるスワップボディコンテナを導入した。シャーシ1台にコンテナ3基を1セットとして稼働した結果、ドライバー年間拘束時間の10%削減および積卸作業‘ゼロ’、待機時間‘ゼロ’で実車稼働率の向上ができた。【取扱商材】インテリア雑貨、家具

14:20
14:40

事例発表9 「事務作業効率化に向けた取り組み」

AGCロジスティクス株式会社 西日本営業開発グループ 植田 節子 氏

経験の異なる女性4人の物流部門の事務作業における時間削減に取り組んだ。業務支援ツールを使用し、現状の見える化、業務分析を行った。分析の結果からメインのターゲットを、総作業時間が長い車組業務(4人中3人が従事)に設定し、個々でバラつきがあった作業手順をメンバーで比較し、良い点、工夫箇所を共有した。また、他業務についても個別の課題はメンバー全員で内容を共有し本人とは別の視点で改善策を考えた。その結果、4人の総作業時間50時間/月の削減に成功した。【取扱商材】建築用硝子、ディスプレイ用硝子

14:40
15:00

事例発表10 「作業スペースの捻出と出庫効率の向上」

水岩ロジスティクス株式会社 サブマネージャー 端本 隆博 氏
リーダー 清水目 敏彦 氏

取り扱い数量の増加に伴い、作業効率の低下および初回出荷作業スペースの確保が問題となっていた。そのため、ABC分析を実施し①出庫低頻度品番の抽出および圧縮②レイアウト変更③動線の見直しを実施した。その結果、使用棚を442台から377台に圧縮。出庫移動距離の短縮に繋がり、ピッキングの生産性が平均192枚/h→平均208枚/hに向上した。また、初回受注出荷の際に100坪ほどスペースが必要であったが、そのスペースも確保することに成功した。【取扱商材】下着・肌着

15:00
15:20

事例発表11 「点から線へ後工程を迅速に確実に」

株式会社NTTロジスコサービス 広島物流センタ 平山 秋博 氏

書籍物流において、保管効率と作業効率の両面を向上させることを目標として改善に取り組んだ。物流全体を最適化するポイントとして、保管方法に着目。保管効率だけでなく、棚への格納のしやすさ、ピッキングのしやすさ、数量カウントのしやすさなど、前後工程の作業効率までを考慮した改善施策を検討し、上流の入荷工程であらかじめ商品サイズをそろえて格納する、類似商品を分散させて格納するなどの改善を行った。これらの改善により保管効率を2倍、ピッキング生産性を1.7倍に向上させた。【取扱商材】書籍

各発表者に記念品贈呈

休憩

15:35
16:35

特別
講演

「トラック物流への自動運転技術の適用」～自動運転・隊列走行に向けた取り組み～

- ・業界及び社会のニーズ
- ・自動運転・隊列走行技術のご紹介
- ・運用イメージとビジネスモデル
- ・我が国政府プロジェクトの取り組みとロードマップ

公益社団法人自動車技術会 関東支部 理事 岩井 信夫 氏



略歴

一般財団法人日本自動車研究所(JARI)にて次世代自動車の動力源を中心とした研究開発や組織のマネージメントに取り組む。その後、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)に移籍し、物流部門を含む運輸交通部門の省エネの技術開発をマネージメント。退職後は現職にて、自動運転の普及活動を積極的に行う。

16:35
16:40

閉会挨拶

石寺 勝秀 氏 関西物流改善事例発表会2017 実行委員会 委員
一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長

開催概要

名 称 関西物流改善事例発表会2017

目 的 物流現場の改善事例を広く募集し、その発表を通じて、物流業務における顧客サービスや品質、生産性の向上、省エネ対策や3Rの推進、CO₂や廃棄物の削減など、物流効率化や環境負荷軽減活動の推進に資することを目的とする。

テ ー マ 現場力向上への挑戦

会 期 2017年10月17日(火)

会 場 ホテル大阪ベイトワー
大阪市港区弁天1-2-1
TEL.06-6577-1111

主 催 公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人
日本物流資格士会 西日本委員会

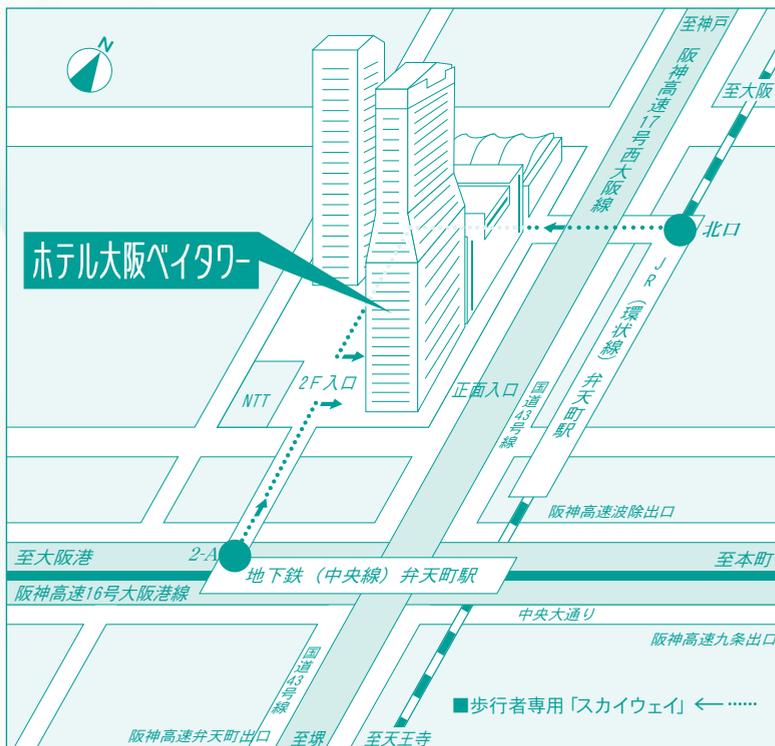
企画運営 関西物流改善事例発表会2017
実行委員会

事務局 公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
関西支部
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22
ハービスENTオフィスタワー19F
TEL.06-4797-2070 FAX.06-4797-2071

実行委員会 委員一覧 (2017年8月10日 現在・敬称略・順不同)

委員長 牧 邦彦 ワコール流通(株) 代表取締役社長
副委員長 高田 充康 オムロン住倉ロジスティック(株) 代表取締役社長
〃 望月 彰 (株)間口 執行役員
ロジ第二カンパニー長 プレジデント
委 員 安田 義浩 (株)NTTロジスコ 八尾物流センタ 次長
〃 勝田 光雄 ケービーエスクボタ(株) 業務部 取締役 業務部長
〃 村上 義則 コクヨサプライロジスティクス(株) CSオペレーション部
CS推進ユニット長 兼 近畿IDC 統括所長
〃 正木 博 佐川グローバルロジスティクス(株) 大阪支店 支店長
〃 垂内 博 サントリーロジスティクス(株) 大阪支店長 兼 山崎事業所長
〃 佐久間慎二 JILSアドバイザー
〃 秋山 政泰 センコーグループホールディングス(株) 人材教育部 部長
〃 武田 重治 ダイキン工業(株) 物流本部 物流技術センター 室長
〃 山下 茂 ダイセル物流(株) 安全品質推進部長 兼 安全品質共育センター長
〃 植松 仁志 大和物流(株) 環境エネルギー物流事業部
環境エネルギー物流グループ 担当課長
〃 中原 明敏 西日本エア・ウォーター物流(株) 営業開発部 課長
〃 石村 俊介 日本通運(株) 関西営業開発部 次長
〃 石寺 勝秀 (一般)日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長
〃 篠原 和豊 (一般)日本物流資格士会 西日本委員会 委員
〃 稲森 浩樹 (株)日立物流 西日本統括本部 事業企画部 部長
〃 中西 学 富士運輸(株) 常務取締役(営業本部担当)
〃 辻 孝 (株)フリゴ 労務管理部 部長
〃 橋本 誠司 ヤマトシステム開発(株) 地域統括営業本部 関西支店 マネージャー
〃 桑波田吉広 山村ロジスティクス(株) 営業本部長
〃 宮澤 聡 リコーロジスティクス(株) 執行役員 関西事業部 事業部長

会場案内



ホテル大阪ベイトワー

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-1 (ORC200内)
TEL 06-6577-1111

【交通案内】

- ◆JR環状線「弁天町」駅 [北口]より徒歩4分
- 地下鉄中央線「弁天町」駅 [2-A出口]より徒歩2分
- (歩行者専用「スカイウェイ」でホテル2F入口へ直結)

※公共の交通機関をご利用ください。

参加料規定(消費税込み)

	参加料	1社から3名以上参加の場合 (3名様以降の参加料)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本物流資格士会 会員	16,200 円/1名	10,800 円/1名
上記会員外	24,840 円/1名	20,520 円/1名

※上記料金には、テキスト代が含まれています。昼食代は含まれておりません。
 ※1社から3名以上参加の場合は、一括でお申込みください。
 ※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしていません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および講演内容の録音はご遠慮ください。

◆有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格[®]をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。

- ◇フォローアッププログラム参加料(消費税込)……………10,800円
- ⑧フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

申込欄の該当保有資格にチェックをして下さい。
 ※ロジスティクス経営士(経営)、国際物流管理士(国際)、グリーンロジスティクス管理士(グリーン)、物流技術管理士(物流)、物流現場改善士(改善)

参加申込締切日

- 2017年10月16日(月)

参加定員

- 300名(定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 先着順に受付ます。
- 開催間近のお申し込みについては、事務局へお問い合わせください。
- 定員に余裕のある場合のみ当日受付も行いますので、事前に事務局にご確認のうえ、直接会場受付へ申込書または名刺をご持参ください。後日請求書をお送りいたします。

参加申込方法

- 下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXまたは郵送にて事務局までお申し込みください。
- 参加者へ「参加証」と「請求書」を参加日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- 開催間近のお申し込みについては、参加証をFAXにてお送りいたします。

参加料支払方法

- 請求書を発行いたしますので、指定の銀行口座にお振り込みください。
 ※当日現金のお取り扱いはいたしておりませんのでご了承ください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお申し込みください。
 (開催後になる場合は、支払予定欄に明記してください)
- 振込手数料は、お客様にてご負担願います。
 【お願い】
- 参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
- 【キャンセル規定】
 (注)キャンセルは、FAXでのご連絡のみ申し受けます。
 ●開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)…参加料(消費税を除く)の30%
 ●開催前日および当日……………参加料(原則として消費税を除く)の全額

参加申込先/プログラム内容の問い合わせ先
公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
 TEL. 06-4797-2070 FAX. 06-4797-2071

関西物流改善事例発表会2017		開催期日	支払予定日		月	日	払い
フリガナ 会社名		2017年10月17日(火)					
事業所名				<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 会員外	保有資格	
参 加 者	フリガナ 氏名1	所属 役職名					<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善
	勤務先 住所	〒 - 都道府県					
	TEL	-	FAX	-	-	取得期 期	
	E-mail						
	フリガナ 氏名2	所属 役職名					<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善
	勤務先 住所	〒 - 都道府県					
	TEL	-	FAX	-	-	取得期 期	
	E-mail						
	フリガナ 氏名3	所属 役職名					<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善
	勤務先 住所	〒 - 都道府県					
	TEL	-	FAX	-	-	取得期 期	
	E-mail						
	フリガナ 氏名4	所属 役職名					<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善
	勤務先 住所	〒 - 都道府県					
	TEL	-	FAX	-	-	取得期 期	
	E-mail						
参加料合計	名 円		協会への連絡事項				
※参加証、請求書は原則として合計金額を最上段(氏名1)の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。							KA-1740